

# 広報 かまいし

- P02… 東日本大震災から4年を迎えて
- P04… 復旧・復興の足どり
- P06… 釜石版「地域包括ケアシステム」の取り組み
- P08… 市の組織機構の一部が変わります
- P09… 釜石情報交流センターを建設します
- P10… まちの話題
- P12… 保健案内板
- P14… まちのお知らせ
- P16… いのちを守る一教訓と備えー

さあ、ホタテをきれいにしようね!!

海からあがったばかりのホタテの貝殻には、シュウリ貝や水ホヤなど海の生き物がいっぱい。初めて見ると、少し気持ち悪く思うかもしれませんが、いつも漁師さんたちがきれいにしてくれています。

〔3月7日／根浜〕

※関連ページ:10ページ

釜石市

TEL.0193-22-2111 FAX.0193-22-2686

ホームページ <http://www.city.kamaishi.iwate.jp/>



# 3.11 東日本大震災から

## 4年を迎えて

**被災者の思いを丁寧にくみとり  
希望を持てるまちづくりにまい進**

悲劇に襲われた東日本大震災から4年が経過しました。改めて、犠牲となられた多くの御霊にご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご家族・ご親族の皆様には衷心よりお悔やみ申し上げます。

この間、深い悲しみと鎮魂への想いをまちづくりの出発点とし、決して撓むことなく、屈することなく、真の復興を実現すべく全力で取り組んできました。市民の皆様には、これまで多くのご支援とご協力を賜り、紙面を通じ心より感謝を申し上げます。

住まいの再建については、先月末に上中島復興公営住宅（Ⅱ期）156戸が竣工を迎え、今月末までに県営を含めて402戸が整備される見込みとなっております。また、自力再建の土地整備に関しては、被災21地区の土地利用計画が確定したほか、土地区画整理事業区域の仮換地指定が終了し、

ほとんどの被災地区で造成工事に着手しました。こうした復興まちづくり基本計画に掲げる全118施策の進捗状況に関して、9割以上の施策がこれまでに「事業実施中」または「事業着手」となっております。

しかしながら、被災された方々はいまだに仮設住宅やみなし仮設住宅などで不自由な生活を余儀なくされております。特に、高齢者の世帯では、ご自身やご家族の健康、将来について不安や悩みを抱えながら生活されております。被災された方々にとって復興を実感できる状況に至っておらず、とても申し訳なく思っております。

新年度は、市の復興まちづくり基本計画10年間の中間年であり、今後の復興邁進を確かなものにする大事な年となりますので、復興事業のスケジュール管理を徹底し、復興の取り組みを一日も早く形づくらなければなりません。

そのためにも「胆大心小」を肝に銘じ、復興まちづくりの整備とともに、お一人お一人の一日も早い復興に心を配り、生活再建の見通しが立っていない方や住宅再建後の新しい生活環境に慣れていない方など、被災者のさまざまな状況や思いを丁寧にくみ取りながら、だれもが希望を持っていきいきとこの地で暮らし続けられるまちづくりに誠心誠意取り組みます。市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

市長 野田武則



4月から開所する「かまいしこども園」(天神町・第一幼稚園跡地)



「タウンポート大町」が12月5日にグランドオープン。順次整備が進む東部地区新商業拠点区域



2月末に完成し、4月から入居開始となる上中島町復興公営住宅（第Ⅱ期）



平成29年春の開校に向け造成工事中の鶴住居小・釜石東中建設予定地（鶴住居町）



運行再開から間もなく1年を迎える三陸鉄道



釜石山田道路の「釜石トンネル」工事が着工（3月4日・住吉町）



# 復旧・復興の足どり

## 被災当時と

## 現在の状況



鷗住居町（新川原地区から）の被災直後【上】と現況【右】



青葉通り（大町）の被災直後【上】と現況【右】



釜石魚市場周辺（魚河岸）の被災直後【上】と現況【右】



大字平田・平田漁港付近の被災直後【上】と現況【右】



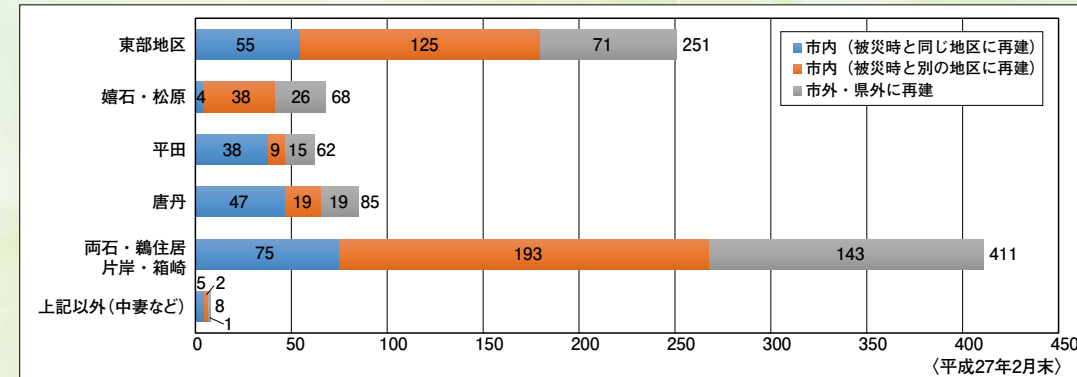
唐丹町小白浜地区の被災直後【上】と現況【右】



薬師公園下付近（大町）の被災直後【上】と現況【右】

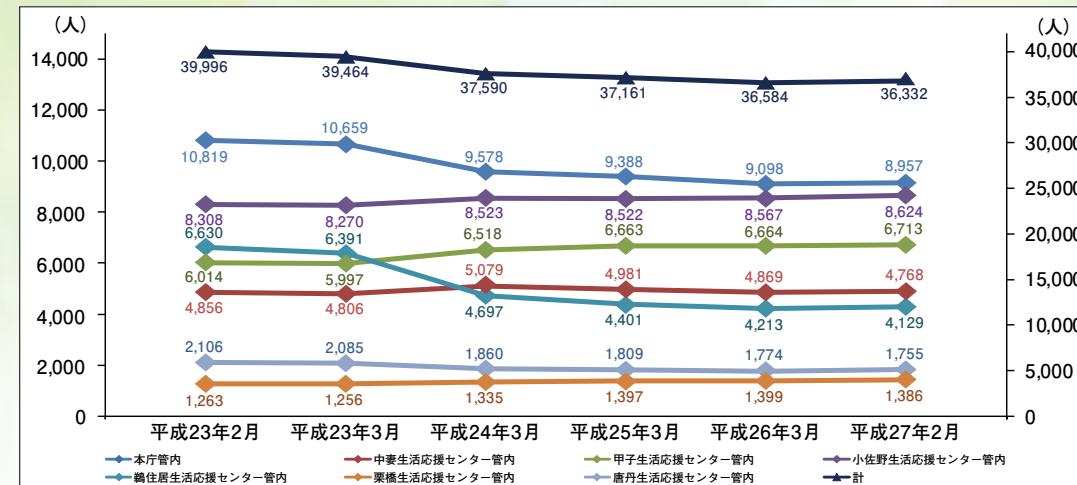


### 住宅の自力再建の状況（地区別）



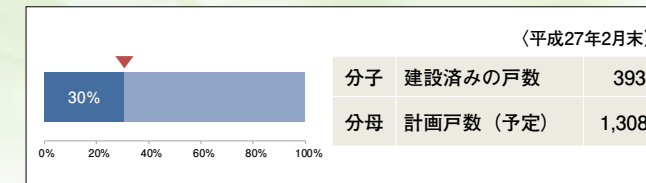
<市内全体> 再建済み：885、市内（被災時と同じ地区）：224、市内（被災時と別の地区）：386、市外・県外：275  
 ※再建数は生活再建支援金の「加算支援金（建設・購入）」申請済み世帯数。

### 人口

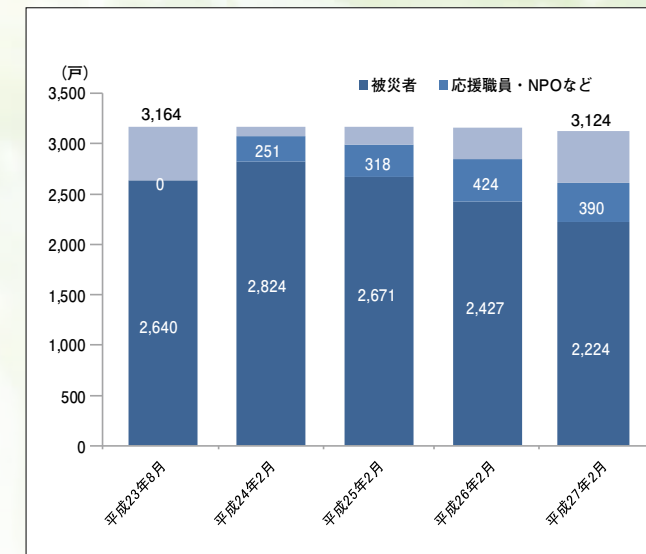


### すまいの動き

#### 復興公営住宅事業の進捗



#### 応急仮設住宅入居戸数の推移



### 被災の状況

#### 地震の概要

発生日時	平成23年3月11日(金) 14時46分ごろ
震源	三陸沖 (牡鹿半島の東南東130km付近)
規模 / 震度	マグニチュード9.0 / 震度6弱(市内中妻町)

#### 津波の概要

第一波	3月11日 14時台	-119cm
最大波	11日 15時21分	9.3m

※気象庁（釜石港湾合庁の痕跡から推定した津波の高さ）  
 【参考】公益社団法人土木学会東日本大震災特別委員会総合調査団資料  
 9.2m（釜石湾平田漁港付近・浸水高）  
 19.3m（両石湾両石漁港背後地・遡上高）  
 15.4m（大槌湾釜石東中学校近くのがけ・遡上高）

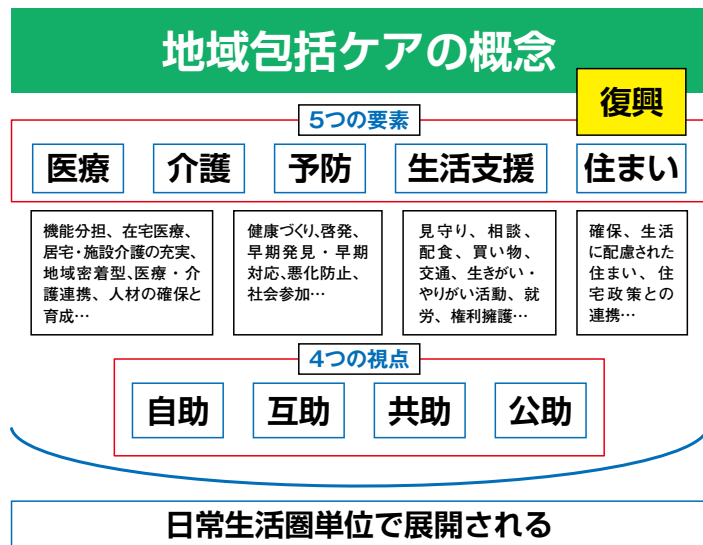
#### 釜石市の被災状況

- 【人的被害】
  - ・死亡者数 888人（身元不明8人）
  - ・行方不明者数152人（H25.1月現在）
  - ※死亡者数は、釜石市で遺体が収容された方
  - ・避難者数 市内避難9,883人（H23.3.17最大）
- 【家屋被害】
  - ・住家数16,182戸のうち4,704戸が被災（29%）
  - ※被災の内訳（全壊2,957戸、大規模半壊395戸、半壊303戸、一部損壊1,049戸）
- 【産業関係】
  - ・市内全事業所2,396事業所のうち浸水範囲の事業所数1,382事業所（全体の57.7%）
  - ・漁業関係 市内3漁協の漁船1,734隻のうち1,692隻が被災（97.6%）





9事業者が揃った「見守りの取組みに関する協力協定書」締結式(2月2日)



# 復興を内包しながら進める 釜石版「地域包括ケアシステム」の 取り組み

当市の高齢化率は35%を超え、少子高齢化・人口減少が一層進行し、認知症や引きこもり、生活保護世帯の増加などが顕在化しています。こうした問題に対応し、絆と支えあいでのみんなが安心して暮らしていけるまちづくりとして、市が現在進めている「地域包括ケアシステム」の取り組みの概要を紹介します。



地域包括ケアとは？

地域包括ケアとは、住民、特に高齢者が、できるだけ住み慣れた地域で、安心して自分らしい暮らしを続けることができるよう、「医療」「介護」「予防」「生活支援」「住まい」に関わるサービスが、その人の抱える課題やニーズに対して適切にコーディネートされた形で提供されるしくみを言います。高齢者を対象とした枠組みとして「団塊の世代」が75歳以上となる2025年を目標に、高齢者が病院（医療）や施設（介護）に頼りすぎない社会を目指すものです。一方で認知症や引きこもり、生活保護、虐待といった課題が地域で深刻になるなか、より包括的な支援の仕組みづくりが求められています。

釜石版「地域包括ケアシステム」と「地域包括ケア推進本部」の設置

東日本大震災の被災地である釜石市においては、こうした課題に加え、被災された市民のケアやコミュニティの回復、復興公営住宅での新たなコミュニティづくりといった課題に対応する必要があります。

このため市では、釜石版「地域包括ケアシステム」として、高齢者をはじめ、認知症、障がい者、子ども、生活困窮者、被災者などの支援を必要とする市民に対し、地域に存在する様々な支援やサービスが包括的・一体的に提供されるまちづくりを進めています。復興を内包する地域包括ケアシステムを実現するため、市は昨年4月に副市長を本部長とし、専任の職員を配置した「地域包括ケア推進本部」を設置し、関係各部署と連携して様々な取り組みを進めています。

実現に向けた取り組み

①生活応援センターを拠点とした取り組み  
釜石版地域包括ケアシステムは、市内8地区にある「生活応援センター」を拠点に展開されています。平成19年に設置された同センターで

は、職員や保健師が常駐し、より市民に身近に保健・福祉（健康づくり・相談業務など）、公民館事業（生涯学習）、窓口業務（住民票発行など）といった各種行政サービスをワンストップで提供しています。また、地域課題の解決に地域で取り組む枠組みとして、同20年に各センター単位で設置された「地域会議」の事務局として、地域づくりのサポート役を担っています。

②見守り環境の充実

高齢世帯や独居世帯の増加に加え、震災による仮設・みなし仮設住宅の設置に伴い、市は、保健師や見守りスタッフ、民生・児童委員、市社会福祉協議会（生活支援相談員・復興住宅サポーター）、@リアスNPOサポーターセンター（仮設団地支援連絡員）などと連携・協力し、支援が必要な方々の見守りを継続的に行い、孤立死の防止や心のケアに取り組んできました。また、地域会議では、近所付き合いなどを通じ、身近なちよつとした「気づき」を関係者と共有し、必要な支援につなげる「見守りネットワーク」づくりに取り組んでいます。こうした「市民発」の取り組みと連携しながら、地域の課題を地道にすくい上げ、サポートを行います。

このほか、地域における見守りを充実させるため、民間事業者との「見守り協定」の締結を進めています。これは、日常的に市民と接することが多い事業者が、普段の業務を通じて市民の異変に気付いた場合、市に情報を提供してもらうことで迅速な支援につなげる試みです。現在までに9事業者と協定の締結を行っており、今後も締結先を広げていきます。

③医療・介護の連携  
地域包括ケアシステムの中心分野

である医療・介護については、平成24年に設置された在宅医療連携拠点「チームかまいし」が中心となり、釜石医師会から派遣されたアドバイザの助言を得ながら、内科や歯科、薬科あるいはケアマネジャーなどとの連携事業、医科と薬科など多職種が連携した同行訪問研修など、多職種の連携を推進する事業を行っています。

今後は、将来的な医療・介護ニーズの高まりに対応し、各専門職のネットワークを活用し、ケアを必要

とする人を様々な角度から支援できる体制づくりに取り組めます。

④復興公営住宅のコミュニティづくり

復興の最重要課題である「住まいの再建」については、昨年末までに復興公営住宅の申し込みと入居の内定が完了し、今後、仮設住宅から復興公営住宅への入居が本格化していきます。市では、阪神・淡路大震災後に公営住宅で孤立死が頻発した事実を教訓に、市民が孤立せず、必要な支援が行きわたるよう、コミュニティづくりを支援するための仕組みづくりに取り組んでいます。具体的に、要介護者、障がい者、高齢者などに配慮した部屋決めルール、入居前の交流会開催といった自治会づくりをサポートするための取り組みを進めています。

⑤「地域ケア推進会議」の設置

地域での見守りやコミュニティづくりを進めることで、地域課題解決の能力が高まり、支援の必要な人に対し、地域のなかで十分なケアが提供され、解決に結びつくことが地域包括ケアシステムの目標とする姿です。しかしながら、地域での解決が困難なケースや、新たな政策が必要となる課題の浮上も想定されます。

地域包括ケアの担い手は？

釜石版「地域包括ケアシステム」を実現するためには、行政や社会福祉協議会、医療・介護専門職による取り組みだけでなく、NPOやボランティア団体、そして何よりも市民の皆さんの協力が不可欠です。住み慣れた地域のコミュニティの機能を生かし、絆と支え合いで、支援の必要な人が孤立しない環境づくりを進めていくため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ

地域包括ケア推進本部（☎55-4536・市保健福祉センター2階）※今後も随時地域包括ケアの取り組みをお知らせします。



# 釜石情報交流センターを建設します



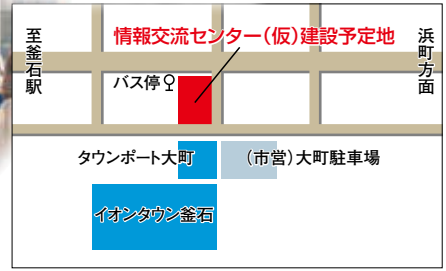
— 東部地区に人・モノ・情報の新拠点 —

市は、東部地区新商業拠点区域（フロントプロジェクトエリア）のにぎわい創出のため、釜石情報交流センター（仮称）を建設します。同センターは、交流と市民活動の拠点施設として、地域の人・モノ・出来事の情報収集し効果的に発信する情報プラットフォームになることを目的に整備します。オープンは今後12月を予定しています。

## 釜石情報交流センターの概要

- 構造**  
延床面積約1,000㎡、鉄骨造り2階建て
- 主な整備内容**
  - ・ラウンジ
  - ・会議室（2室）
  - ・多目的集会室（約180㎡）  
地域活動の場として整備  
※エンターテインメントによる復興支援団体の拠点となるライブシアターとしても活用します。
  - ・カフェ  
オランダ王国大使館の協力により、絵本キャラクター「ミッフィー」イラストの使用許諾を得たカフェを整備
  - ・その他、仕事や学習のためのワークスペースや活動機材を備えた作業スタジオなどを整備

## 建設予定地の位置図



**ミッフィーカフェ**  
事業者を募集します

ミッフィーのイラストを使用するカフェレストラン「ミッフィーカフェ」の事業者を募集しています。

- ▶ 募集期限 3月31日(火)
- ▶ 事業開始予定 平成27年12月
- ▶ 店舗名 ミッフィーカフェかまいし
- ▶ 場所 釜石情報交流センター（仮称）1階
- ▶ 店舗面積 約100㎡
- ▶ 席数 40席程度
- ※応募方法などの詳細は市ホームページをご覧ください。

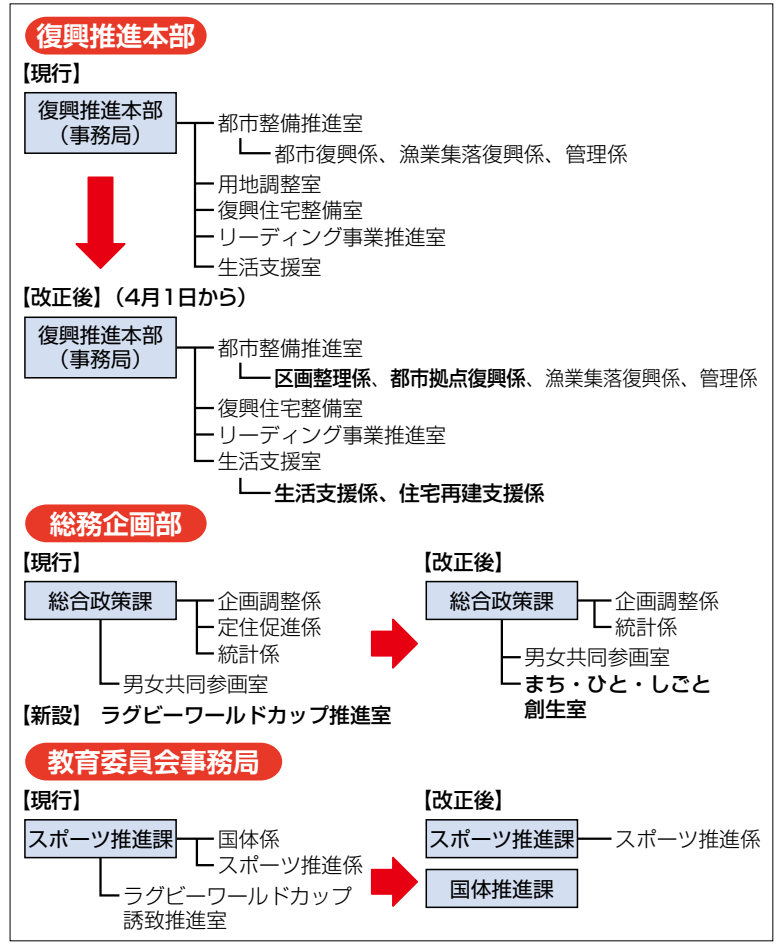


※ミッフィーカフェイメージ

# 4月1日から 市の組織機構の一部が変わります

市では、本格復興邁進への体制構築と併せ、地方創生やラグビーワールドカップ2019への取り組みを推進するため、平成27年4月1日付けで組織機構の一部を次のとおり見直します。

- (1) 復興推進本部
  - ◆ 用地買収業務の進展に伴い、今後、被災者に配慮しながら復興まちづくりを進める上で、効果的かつ効果的な事業執行体制とするため、業務上、行動を共にすることや同様の事務執行が多い「都市整備推進室」と「用地調整室」を統合します。
  - ◆ 本格化する土地区画整理事業や防災集団移転促進事業の体制強化のため、都市整備推進室の「都市復興係」を新たに「区画整理係」と「都市拠点復興係」に改編します。
  - ◆ 仮設住宅の入・退去受け付け、見守りなどを行っている「生活支援室」の被災者支援業務と、都市計画課が所管する住宅再建の相談や支給事務を1カ所の窓口で対応できるようにするため、生活支援室に「住宅再建支援係」を新設します。



(2) 総務企画部  
◆ 国が掲げる「まち・ひと・しごと創生」施策への対応や市町村

まち・ひと・しごと創生総合戦略（基本的な計画）策定のほか、若者定着・出会いの場創出の取り組み強化、雇用・住まい・子育てに関する施策の総合的かつ戦略的な推進に向け、総合政策課の「定住促進係」を廃止し、新たに「まち・ひと・しごと創生室」を新設します。

◆ 当市でのラグビーワールドカップ開催決定を踏まえ、教育委員会が所管している「ラグビーワールドカップ誘致推進室」を総務企画部に移管し、市長直属

## 人材育成道場

### 第3期 未来創造塾の塾生を募集します

市は、若手の経営者や事業家のための人材育成道場「未来創造塾」の受講生を募集します。

■ 募集期間：3月20日（金）～4月10日（金）

■ 内容：5月～11月にかけて月2回のカリキュラムで、コンサルタント・会計士によるメンタリングやマーケティング・戦略・経営と数字の勉強会を通じて、事業構想を作成します。仲間と刺激し合うことで、経営者やリーダーとして成長できます。既に20人の卒業生を輩出しています。

■ 対象：釜石市・大槌町の若手経営者や事業家（地元起業家・NPOなど含む）など

■ 定員：8人

■ 受講料：無料

■ 申し込み：市役所第3庁舎1階産業振興部商工労政課と釜石商工会議所、釜石青年会議所に備え付けの出願書に必要事項を記入し、左記までEメールまたはファックス、郵送でお送りください。出願書は市ホームページからもダウンロードできます。

※定員を超えた場合は書類選考を行います。

### 申し込み先

〒026-18686 釜石市只越町3丁目9番13号  
東北未来創造イニシアティブ  
☎31-2005、ファックス22-2762  
Eメール dojoyou\_jimukyoku@tohokumitai.jp

## 釜石地区と中妻地区の生活応援センターが移転

釜石地区生活応援センター  
4月1日（水）から、現・保健福祉センター2階（大渡町）へ新・青葉ビル1階（大町）へ移転します。

中妻地区生活応援センター  
3月30日（月）から、現・上中島町2丁目11番新・上中島町復興公営住宅第II期、3号棟1階（上中島町）へ移転します。

なお、両センターの電話番号（釜石地区 ☎220180・中妻地区 ☎2315541）はこれまでどおりです。

移転先の青葉ビル（上）と上中島町復興公営住宅（第II期）（下）

の組織として全庁的取り組みを円滑に推進するため、同部内に「ラグビーワールドカップ推進室」を設置（※）します。

※現在開会中の釜石市議会定例会に提案中です。

### (3) 教育委員会事務局

平成28年度に開催される希望郷いわて国体に対応するため、国体推進課を設置し、専従の職員を配置します。また、スポーツ推進課職員は国体推進課を兼務します。



# ラグビーワールドカップ(W杯)2019開催都市に決定

3月2日 [鶴住居町 宝来館]

国際統括団体ワールドラグビーから大会運営を委託されたW杯リミテッドは、アイルランドのダブリンで理事会を開き、ラグビーW杯2019の開催都市を発表し、岩手県と釜石市がその一つに選ばれました。

ラグビーカフェ・クレスト鶴住居がある宝来館では、関係者や応援する市民ら約120人が集まり、発表の瞬間をパブリックビューイングで見守りました。釜石の名前が告げられると、会場には大歓声が響き渡り、一報に歓喜しました。

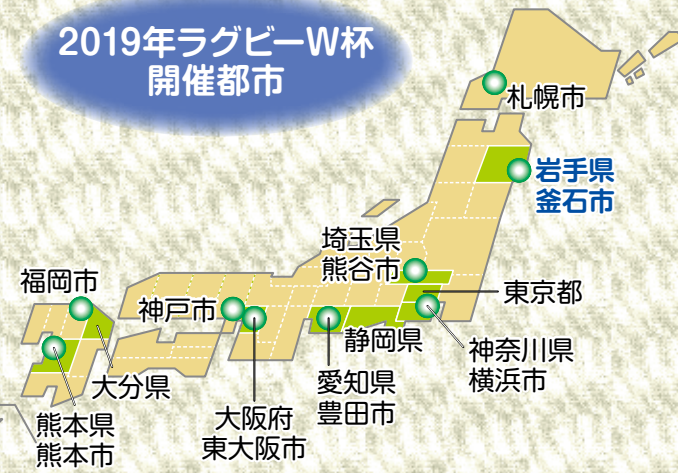
直後の記者会見で市長は、「大会開催により、未来を担う子どもたちが夢と希望を持ち、釜石のみならず被災地に住む方々が、全国から頂いた温かい支援の絆を心の財産として力に変え、復興を成し遂げた姿を世界中の皆さんに発信したい」と決意を新たにしました。

スタジアムの建設や財源の確保、安全の確保、施設の管理・運営など、さまざまな課題に真摯に取り組み、2019年にはみんなで世界の人々をおもてなししましょう。



W杯スタジアムイメージ図

2019年ラグビーW杯  
開催都市



釜石の名前が告げられた歓喜の瞬間



かまとら

「かまとら」の「かま」は釜石、「とら」は「Try(挑戦)」・「Travel(旅)」・「虎舞」。釜石の魅力発見のために、みんなで楽しく元気よく、いろんなことに挑戦していこう!という意味が込められています。

今春、三陸ひとつなぎ自然学校からは、「かまとら ~釜石のお宝&鉄人発掘博覧会~」と題し、鶴住居川流域を博覧会場に見立てて、トレッキング・漁業体験・伝統芸能見学など、その分野に詳しい鉄人が案内する多種多様な企画を実施しています。釜石には、まだまだ知られていないお宝や鉄人がたくさん。そんな隠れた釜石の魅力を発掘し、体験するイベントが「かまとら」です。

これまで開催されたイベントのうち2件と、今後予定されているプログラムを紹介します。ぜひ、この機会に釜石を楽しんでみませんか?

## 3/4 県産大豆を使った豆腐&おから料理づくり体験 (旧橋野へき地保育所)

鉄人は、橋野の佐々木章夫さんと静子さんのご夫妻。章夫さんからは豆腐&おからづくりを教わり、静子さんからはおからを使った料理が振る舞われました。参加者は、石臼で大豆をひく初めての作業に感動。昔は、各家庭に石臼があり、冠婚葬祭で振る舞われる料理として豆腐が作られていたそうです。できたての豆腐はとても甘くて、おから料理もおいしくいただきました。



## 平成26年度かまいし地域づくりフォーラム

3月7日

[釜石地区合同庁舎4階 大会議室]

住み慣れた地域で暮らし続ける「地域包括ケア」の取り組みや認知症への対応について学び、地域と関わりの深い地域会議での見守り活動などについて考える「かまいし地域づくりフォーラム」に約130名が参加しました。これまでに地域会議で議長を務めた平松元二さん、沼澤庸さん、浦山文男さん、立石隆幹さん、故菊池正明さんへの感謝状贈呈に続き、山梨学院大学法学部教授の竹端寛さんの講演と市地域包括支援センター職員による寸劇とが組み合わせて行われました。初めての試みとなる寸劇では、認知症への間違っただ対応例と正しい対応例などが演じられ、認知症への理解などをわかりやすく伝え、好評を博しました。



寸劇で伝える認知症への正しい対応のあり方



力強い作品を見入る子ども

## マレーシア児童生徒絵画作品展 ~児童画でつなぐ元気 マレーシアからのメッセージ~ 3月4日~8日 [市立図書館]

色鮮やかでグラデーションが美しいマレーシアの生徒たち(7歳から17歳まで)の絵画作品約100点が市立図書館で展示されました。これは、28年間、マレーシアと日本の生徒たちの絵を通じた国際交流活動の支援に取り組んでいる、埼玉県朝霞市の認定・埼玉県指定NPO法人メイあさかセンターによる復興支援活動として実現しました。8日には、メイあさかセンターの代表理事・尾池富美子さんから「絵を通じての友好」について講演もありました。尾池さんは、「マレーシアの子どもたちの絵で、釜石のみなさんに元気になってもらいたい」と笑顔で話しました。



## 3/7 採れたてホタテでおいしいスープカレー&貝殻キャンドル作り体験 (根浜・宝来館)

ホタテの貝殻をきれいにし、新鮮なホタテをいただきます。昼食は、宝来館にて、ごろっとした野菜が特徴的なピリ辛シーフードスープカレーを堪能。その後、釜石のNPO団体に携わる池田静さんを鉄人に迎え、ホタテの貝殻を皿にして、ゼリー状のカラフルなキャンドルづくりに挑戦。このキャンドルは、あかりプロジェクトin釜石「根浜海岸・3.11キャンドルナイト」用となり、参加者は一所懸命にキャンドルを作りました。できたキャンドルはそれぞれ違う色に仕上がりました。

3月の予定 詳細や申し込みについては、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

	プログラム名	日時	場所	問い合わせ先
①	三浦勉さんと行く 橋野・雪渡りミステリー&マニアックツアー	21日(土) 9時~14時	橋野町(和山高原)	かまとら事務所 ☎55-4630 ✉ kamatora327@gmail.com
②	地元産スギの枡で「浜千鳥」を味わいながら釜石の森や水、酒を知る夕べ	21日(土) 13時~15時	ごはんや なごみ (鶴!はまなす商店街内)	釜石地方森林組合 ☎080-9639-6984 ✉ tezuka_sayaka@kamaentai.org
③	さんつなくらぶ 究極のもちを食べるための2日間!(対象:小学生)	23日(月)11時~24日(火)1泊2日	旧橋野へき地保育所周辺	三陸ひとつなぎ自然学校 ☎55-4630 ✉ hitotsunagi.main@gmail.com

※②定員充足まであと数名



# ストレス & 不眠解消セミナーのお知らせ

市では、平成23年度から市民の皆さんにご協力いただき岩手県立大学と共同で健康調査を行ってきました。その中で、ストレスや不眠などの悩みを抱えている人が多いことがわかりました。そこで、岩手県立大学社会福祉学部臨床心理士の中谷敬明氏から、ストレスと上手につきあう方法や不眠の対策などについて学ぶ機会を設けました。申し込みは不要。直接会場にお越しください。

① 3月24日(火)	13:30~15:00	小佐野コミュニティ会館
② 3月26日(木)	10:00~11:30	保健福祉センター 9階
③ 3月26日(木)	13:30~15:00	鶴住居町 長内集会所

## 日時・場所

問い合わせ…市健康推進課 ☎22-0179

## 保健だより

### 乳幼児健康診査

健診(予防接種)内容	日時	医療機関・会場	対象者	個別通知
1 1カ月児健診	4月中	県内小児科	平成27年3月生	なし
3~4カ月児健診	4~5月中		平成27年1月生	
9~10カ月児健診			平成26年7月生	
1 1歳6カ月児健診	4月中	(小児科) 県立釜石病院 岩井小児科医院 (歯科) 市内歯科医院	平成25年9月生	あり
3 3歳児健診			平成23年9月生	
6 6カ月児健診・BCG接種	4月22日(水) 受付13:00~13:15	市保健福祉センター 9階	平成26年10月生	あり
2 2歳児い歯健診	4月9日(木) 受付9:00~9:30		平成24年9月生	
4 4歳6カ月児発達検査	4月16日(木) 受付9:00~9:30		平成22年9月生	

### 各種教室・集団予防接種

内容	日時	会場	対象者	申込期限
①パパママ準備教室(※1) ②ベビーマッサージ(※2)	4月11日(土) ① 9:30~11:30 (受付9:20~9:30) ② 10:00~11:30 (受付9:50~10:00)	市保健福祉センター 9階	①妊娠6~7カ月の妊婦 および配偶者 ②おおむね4~12カ月児	4月9日(木)
もぐもぐごっくん教室【初期】(※2)	4月8日(水) 10:15~11:30 (受付10:00~10:15)	青葉ビル研修室 1・2	おおむね5~6カ月児	4月6日(月)
かみかみごっくん教室【中・後期】(※2)	4月15日(水) 10:15~11:30 (受付10:00~10:15)	青葉ビル研修室 1・2	おおむね7~12カ月児	4月13日(月)
三種混合・不活化ポリオ(※3)	4月7日(火) (受付13:15~13:45)	市保健福祉センター 9階	平成23年12月31日までに生まれた子ども※接種を受ける当日の年齢が7歳6カ月未満であること。	当日受付

※1 母子健康手帳、母子健康手帳副読本持参 ※2 母子健康手帳、バスタオル持参 ※3 母子健康手帳、予診票持参  
母子健康手帳の交付日…4月3日、10日、17日、24日(祝日を除く毎週金曜日 受付時間13:30~15:00)  
問い合わせ…市健康推進課保健予防係(保健福祉センター2階) ☎22-0179

### 釜石保健所開設相談

内容	日時	対象者	備考
精神保健相談(こころの相談)	4月28日(火) 13:30~16:00	認知症やうつ、思春期のこころに関することなど、悩み、不安をもつご本人やご家族	毎月第4火曜日(予約制、無料)
酒害相談(リラス断酒新生会による)	4月15日(水) 13:00~14:30	アルコール問題に関わる困りごとや不安をもつご本人やご家族など	毎月第3水曜日(予約制、無料)

問い合わせ…釜石保健所保健課 ☎25-2702

### 子どもによる医薬品の誤飲事故にご注意を

飲んだ場合、子どもの状態や薬の名前、飲んだ量を確かめた上でかかりつけ医師に連絡し必要に応じて医療機関を受診しましょう。薬に関する相談は遠慮なく、かかりつけの薬剤師にお尋ねください。

子どもによる医薬品の誤飲事故は、大人用の向精神薬(催眠鎮静剤、抗不安剤、精神系作用剤など)、血糖降下剤、気管支拡張剤、降圧剤は重篤な健康被害のおそれがあるため、厳重に管理しましょう。

○特にリスクの高い医薬品については細心の注意を払う  
大人用の向精神薬(催眠鎮静剤、抗不安剤、精神系作用剤など)、血糖降下剤、気管支拡張剤、降圧剤は重篤な健康被害のおそれがあるため、厳重に管理しましょう。

○服用後は速やかに元の安全な場所へ片付けましょう。また、子どもの興味をひかないように医薬品の出し入れや飲みどころを子どもに見せないようにしましょう。

○子どもが届かない、見えない所に保管する  
1歳以上の高さの場所に保管しても、踏み台などを使って取り出してしまいうケースがあります。鍵のかかる場所におく、取り出しにくい容器に入れるなど、複数の対策が必要です。

○服用後はそのまま放置せず、安全な場所に片付ける  
服用後は速やかに元の安全な場所へ片付けましょう。また、子どもの興味をひかないように医薬品の出し入れや飲みどころを子どもに見せないようにしましょう。

消費者庁の子どもの医薬品誤飲事故の報告によると、誤飲事故が増加傾向にあると指摘されています。医薬品を誤飲すると、場合によっては重篤な健康被害を生じるおそれがあります。家庭で医薬品を保管する場合は、次のことに気を付けましょう。



釜石薬剤師会 会長  
小笠原修二

# あなたのこころは元気ですか? ~自分自身のこころの健康を守るために~

つらい状況を乗り越えるための方法は「十分な休養や睡眠」「趣味などでの気分転換」「家族など身近な人と話すこと」「ものの見方・考え方を変えてみる」など人それぞれです。セルフケアも大切ですが、つらい時には人に相談したり、支援を求めたりすることも必要です。今回は釜石地区で活動している傾聴ボランティアを紹介するので、お気軽に利用してみたいはいかがでしょうか。

- ◆活動日時(場所)  
毎週金曜日13時30分~15時30分  
(市保健福祉センター8階)  
※祝祭日を除きます
- ◆お問い合わせ  
はなみずき ☎22-0222
- ◆活動日時(場所)  
市健康推進課 ☎22-0179
- ◆お問い合わせ  
はなみずき ☎22-0222



## はなみずき

県実施の「傾聴ボランティア養成講座」を受講した仲間と活動しています。悩んでいる人の話を聞いて、少しでも心に安らぎを感じてもらおう「傾聴ルーム」を開いています。



## 保健案内板

問い合わせ…市健康推進課

保健予防係(☎22-0179)  
※保健福祉センター2階

## 傾聴ボランティア紹介 青い空の会

市実施の「ゲートキーパー養成講座」を受講した仲間と活動しています。お茶を飲みながら話をしたり、花を生けたりと、ゆったり過ごせる「地域サロン」を開催しています。ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげて見守る人のことです。

## 平成27年度予防接種のご案内

### ~感染症から子どもを守りましょう~

「三種混合・不活化ポリオ」および「四種混合」予防接種を実施します。まだ接種していない子どもや必要回数に達していない子どもが対象となります。母子健康手帳の「予防接種の記録」を確認して接種を受けましょう。対象年齢を過ぎると自己負担での接種となりますので、ご注意ください。

- 集団予防接種(三種混合・不活化ポリオ)  
会場…保健福祉センター 9階  
接種日…下表のとおり ※接種日は毎月広報でお知らせします  
対象…①平成23年12月31日までに生まれた子ども(接種を受ける当日の年齢が7歳6カ月未満であること。)  
②平成24年1月~6月生まれで三種混合またはポリオの予防接種を1度でも受けたことのある子ども

### 「三種混合」「不活化ポリオ」平成27年度年間日程

平成27年								平成28年			
4/7	5/12	6/2	7/7	8/11	9/1	10/6	11/10	12/1	1/19	2/9	3/1

- 個別予防接種(四種混合)  
会場…県立釜石病院、岩井小児科医院  
接種日…診療日に随時実施  
※県立釜石病院(☎25-2011)または岩井小児科医院(☎23-7573)へ事前予約の上、接種してください。  
対象…平成24年7月以降生まれの子ども  
持ち物…母子健康手帳と予診票

問い合わせ…市健康推進課 ☎22-0179



# 各種相談

**岩手弁護士会無料法律相談**  
 日時…3月25日(水)、4月8日(水)  
 10時～15時  
 場所…市消費生活センター  
 定員…予約先着8人  
 申し込み…市消費生活センター ☎22-2701)

**多重債務弁護士無料相談**  
 日時…4月21日(火) 10時～15時  
 場所…市消費生活センター  
 定員…予約先着6人  
 申し込み…市消費生活センター ☎22-2701)

**公証相談**  
 日時…4月2日(水) 10時～12時  
 場所…市消費生活センター  
 定員…予約先着4人  
 申し込み…宮古公証役場 ☎0193-63-4431 ※前日までに予約がない場合は中止となります。

**人権相談**  
 日時…4月3日(金) 13時～16時  
 場所…市消費生活センター  
 対応…人権擁護委員  
 申し込み…市消費生活センター ☎22-2701)

**私的整理ガイドライン相談**  
 日時…4月9日(水) 10時～15時  
 場所…市消費生活センター  
 申し込み…私的整理ガイドライン運営委員会 ☎019-606-3622 ※前日までに予約がない場合は中止となります。

**社会保険相談**  
 日時…4月9日(水) 10時～15時30分  
 場所…青葉ビル1階 研修室  
 内容…社会保険相談(事業所含む)、国民年金・厚生年金相談  
 ※相談は予約制です。  
 申し込み…宮古年金事務所 ☎0193-62-1963)

## 休日納税相談窓口

期日…3月21日(土)、22日(日)  
 時間…9時～15時  
 場所…市税務課  
 問い合わせ…市税務課 ☎22-2111、内線153)

## 夜間納税相談窓口

期日…3月27日(金)、30日(月)、31日(火)  
 時間…17時15分～19時15分  
 場所…市税務課  
 問い合わせ…市税務課 ☎22-2111、内線153)

## 釜石市の人口と世帯(2月末)

男	17,228人 (- 8人)
女	19,104人 (- 18人)
合計	36,332人 (- 26人)
世帯	17,033世帯 (- 13世帯)

※( )は前月比

## 市営釜石ビル貸事務所の入居事業者を募集します

場所…浜町1-1-1

部屋	面積	家賃
212号	19.84㎡	42,120円/月
213号	19.84㎡	42,120円/月
214号	19.84㎡	42,120円/月
215号	25.15㎡	53,350円/月
216号	19.52㎡	41,470円/月

敷金…家賃の3カ月分  
 申し込み期限…3月31日(火)まで  
 ※申し込み多数の場合は抽選。現在改修のため、入居は4/1以降となります。2部屋分を1部屋として貸借することも可能です(費用は自己負担)  
 問い合わせ…市財政課 ☎22-2111、内線128・129)

## 海上保安学校学生を募集します

人事院と海上保安庁は、10月に海上保安学校に入学する学生を募集します。採用された場合、一年間の教育訓練の後、海上保安官として海難救助などの業務に従事します。  
 受付期間…郵送の場合：4月1日(水)～3日(金)  
 インターネットの場合：4月1日(水)～8日(水)  
 ※申し込み方法などは海上保安庁のホームページ(<http://www.kaiho.mlit.go.jp/saiyou/bosyu/index.html>)をご覧ください。  
 第一次試験日…5月17日(日)  
 問い合わせ…釜石海上保安部管理課 ☎88-3820)

休日当番医・薬局・歯科医(4月)			
休日	当番医	所在地	電話番号
5	国立釜石病院【内・小】	定内町	☎23-7111
12	大槌おおのクリニック【内・循】	大槌町	☎44-3122
19	ふじまる内科医院【内・消】	鶴住居町	☎29-1777
26	平野内科医院【内】	只越町	☎22-1273
29	釜石のぞみ病院【内】	大渡町	☎31-2300
休日	当番薬局	所在地	電話番号
5	中田薬局小佐野店	小佐野町	☎21-3355
12	ハーブ薬局	大槌町	☎44-3171
19	リリーフ薬局	鶴住居町	☎29-1555
26	しおかぜ調剤薬局	天神町	☎55-4343
29	おおぞら薬局	大渡町	☎31-2030
休日	当番歯科医 ※診療時間は9時～12時	所在地	電話番号
5	歯科福成医院	新町	☎25-0105
12	平松歯科医院	野田町	☎25-0315
19	かつし歯科医院	甲子町	☎25-2785
26	三浦歯科クリニック	平田	☎55-6480

## 「国税専門官採用試験」(大学卒業程度)のお知らせ

仙台国税局では、国の財政を支える重要な仕事を担い、税務のスペシャリストとして活躍する税務職員を募集しています。  
 第一次試験日…6月7日(日)  
 受験資格  
 ①昭和60年4月2日から平成6年4月1日生まれの人  
 ②平成6年4月2日以降生まれで次に該当する人  
 (1)大学を卒業した者及び平成28年3月までに大学を卒業する見込みの人  
 (2)人事院が(1)に掲げる人と同等の資格があると認める人  
 受験申込  
 ①インターネットの場合(原則)  
 4月1日(水)9時～4月13日(月)に人事院のインターネット申込専用アドレス(<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>)から申し込み  
 ②郵送・持参の場合  
 4月1日(水)～4月2日(木)(消印有効)に仙台国税局人事第二課(〒980-8430仙台市青葉区本町3-3-1)へ申し込み※受験申込書は、最寄りの税務署と仙台国税局人事第二課、人事院東北事務局で配布します。  
 問い合わせ…仙台国税局人事第二課 ☎022-263-1111、内線3236)

## 国土調査による成果が登記されました

平成22年度に一筆地調査(現地調査)を実施した下記土地の登記が完了したのでお知らせします。  
 区域…甲子町第3、4地割の各一部  
 登記完了日…平成26年12月26日  
 問い合わせ…市国土調査推進室 ☎22-2111、内線308・309)

## 3月31日(火)はがん検診の申し込み締め切りです

2月末に平成27年度のがん検診申込書を発送し、現在申し込みを受け付けています。申込書が届いている人は、3月31日(火)までに忘れずに申し込みするようお願いいたします。申込書が届いていない人は、市健康推進課 ☎22-0179)までご連絡ください。

## 税務課備え付け公図の閲覧を休止しています

市は土地の分筆・合筆に伴う税務課備付公図(地籍図)の修正作業のため、3月27日(金)まで、公図の閲覧や写しの交付を休止しています。  
 問い合わせ…市税務課 ☎22-2111、内線147)

# まちのお知らせ Information

## 資源物回収事業推進奨励金の交付申請期限のお知らせ

市では、地域のリサイクル活動である資源物回収事業を推進するため、事業に取り組む団体に奨励金を交付しています。平成26年度の奨励金の申請期限は、3月31日(火)です。平成26年度に資源物回収事業を行った登録団体は、申請書に仕切伝票を添付して環境課へ提出してください。  
 問い合わせ…市環境課 ☎22-2111、内線233

## 水道の開始・中止届について

引越しや長期間の留守などに伴い、新たに水道を使う場合や水道を中止する場合は、3～4日前までに水道事業所への届け出が必要です。届け出は電話でも可能です。中止の届け出がない場合は、使用していても基本料金が発生しますのでご注意ください。なお、仮設住宅の場合も届け出が必要です。  
 受付と開閉栓作業時間…月曜日から金曜日の8時30分から17時15分(※祝日と年末年始を除く)  
 届出先…市水道事業所 ☎23-5881)

## JICAボランティア募集のお知らせ

独立行政法人国際協力機構(JICA)では、「青年海外協力隊」、「シニア海外ボランティア」の平成27年度春募集を行います。  
 募集期間…4月1日(水)～5月11日(月)(消印有効)  
 応募資格…※いずれも日本国籍が必要です  
 ①青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア  
 5月11日時点で満20歳～39歳の人  
 ②シニア海外ボランティア・日系社会シニアボランティア  
 5月11日時点で満40歳～69歳の人  
 応募方法…JICAホームページ([www.jica.go.jp](http://www.jica.go.jp))から用紙をダウンロードし〒102-0082 東京都千代田区一番町23-3日本生命一番町ビル5階へ送付  
 ■説明会  
 日時…①4月11日(土)10時～12時30分  
 ②4月15日(水)18時30分～20時30分  
 場所…アイーナ(盛岡市)5階 会議室501  
 内容…概要説明や体験談発表など。予約は不要、入退場自由です。  
 問い合わせ…JICA東北ボランティア担当 ☎022-223-4772)

## 移動図書館「しおかぜ」4月巡回日程

日	巡回先	巡回時間
4日(土)	青葉ビル	9:10～9:40
	大只越市営住宅付近	9:50～10:20
	泉堂上平田アパート4号棟前	10:40～11:10
	上平田 釜石地区教職員アパート駐車場	11:20～11:50
	上中島仮設団地談話室前	13:00～13:30
	野田団地青空児童公園付近	13:40～14:10
9日(水)	新浜町 旧水産試験場	9:20～9:40
	浜町 篠原浩さん宅前	9:50～10:20
	市営ビル前	10:30～10:50
	平田幼稚園前	11:10～11:30
	旧 尾崎小学校前	11:45～12:10
	平田地区災害復興公営住宅付近	13:20～13:50
10日(金)	桜木町仮設団地	9:20～9:45
	働く婦人の家	9:50～10:20
	小川町 太平工業アパート駐車場	10:30～11:00
	旧小川小学校 甲子町第3仮設団地	11:10～11:40
	中川川 カサ・デ・ファミリア前	13:00～13:30
	甲子町B仮設団地(松倉)	13:40～14:10
14日(火)	キクコーストア釜石松倉店前	9:10～9:40
	甲子小学校	10:00～10:30
	洞泉市営住宅前	10:40～11:10
	甲子町第9仮設団地(大松)	11:20～11:40
	旧大松小学校前	11:45～12:00
	貝貝 チビッコ公園前	13:00～13:20
15日(水)	洞関コミュニティ消防センター前	13:30～14:00
	甲子町A仮設団地(松倉)	14:10～14:30
	青ノ木集会所付近	9:50～10:05
	中村バス停前	10:20～10:40
	栗橋地区生活応援センター前	10:50～11:10
	上栗林集会所前	11:20～11:40
16日(木)	栗林小学校前	12:40～13:30
	鶴住居田郷地区(仮設A・B棟)	13:45～14:15
	鶴住居田郷地区(仮設C・D棟)	14:20～14:50
	松倉新日鉄アパート前(3号棟付近)	9:50～10:20
	甲子町第2仮設団地(大畑南)	10:30～11:00
	大畑団地集会所前	11:10～11:40
16日(木)	甲子林業センター駐車場	13:00～13:30
	甲子地区生活応援センター前	13:40～14:10
	国立釜石病院駐車場	14:20～14:50
	松原公園付近	9:20～9:40
	大平町 大平集会所	9:50～10:20
	大平町 望洋ヶ丘集会所前	10:30～10:50
21日(火)	釜石子ども園	9:10～9:40
	源太沢公園前	10:00～10:30
	昭和園クラブハウス	10:40～11:10
	大渡町 工藤駐車場(釜小入り口)	11:20～11:50
	釜石小学校	12:50～13:30
	天神町仮設団地	13:40～14:10
22日(水)	鈴子町 佐々木健介さん宅前	14:20～14:50
	学校団体貸出	9:00～11:00
	鶴住居田日向アパート前	13:00～13:20
	外山集会所前	13:40～14:00
	平田第6仮設団地前	9:20～9:40
	花露辺復興住宅前	10:00～10:30
23日(木)	本郷 小池タマさん宅駐車場	10:40～11:10
	小白浜 旧 高橋酒店付近	11:20～11:50
	唐丹小学校前	12:40～13:20
	片川集会所前	13:30～13:50
	小白浜仮設団地前	14:00～14:30
	24日(金)	釜石ワークステーション 定内公園付近

問い合わせ  
 市立図書館 ☎25-2233)

\*交通事情により多少のずれが生じることがあります。  
 市立図書館 4月の休館日…6日、13日、20日、27日、30日(29日は開館します。)



## 木の伐採と山を守ることにについて

これまで2回にわたり、樹木の乱伐防止と植樹の推進などで山を守り、土砂災害や水害を防止する「江戸時代までの砂防」の取り組みを紹介してきました。

土砂災害や水害のために樹木を保護することは大切ですが、一方で、民家近くや道路脇の成長した樹木が家屋や道路に倒れ掛かっている場所が見受けられ、こうした状況は強風の際に事故が発生する危険性があります。また、間伐などで山に置かれている枝や木材が大雨で流出して沢をせき止め、場合によっては土砂災害を引き起こすことも考えられます。

樹木の管理は土地所有者の責任です。災害を未然に防ぐため、適切な樹木の管理をお願いします。

## 「震度」と「マグニチュード」の違いは？

最近、地震が多発しています。地震情報を確認する際の参考として、「震度」と「マグニチュード」の違いについて説明します。

震度は、それぞれの場所の揺れの強さを表すもので、場所によって異なります。一方、マグニチュードは地震そのもののエネルギーの大きさ（規模）を表し、一つの地震で一つの数値となります。

これらは基本的に比例関係にあり、マグニチュードが大きいと震度も大きくなりますが、震源がどこかで、震度は大きく変わります。例えば、マグニチュードの小さい地震でも震源からの距離が近いと震度は大きくなり、マグニチュードの大きい地震でも震源からの距離が遠いと震度は小さくなります。また、震源からの距離が同じでも地盤の硬さや地形によって震度が違ってきます。

日本では、震度を10階級（0、1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7）に分けて表しますが、多くの国が12階級で表しています。マグニチュードは大まかに言う让世界共通とされています。

※詳しくは、気象庁ホームページ（<http://www.jma.go.jp/jma/>）を参照ください。

防災行政無線の放送内容を無料で確認できます。ぜひご利用ください。(☎0800-800-3199)

# いのちを守る — 教訓と備え —

## 震災あの日あの時

〔避難所編〕

5

前川 輝夫さん  
(平田町内会 会長)

避難所：旧釜石商業高等学校体育館

平田町内会では、平成21年に自主防災組織を結成したが、震災時にはだれがどこにいるのかもわからず、ほとんど機能しなかった。そこで、避難所で町内会や漁協の関係者、若い人たちが臨時の防災組織を結成し、それぞれ役割分担で避難所の運営にあたった。苦労は多かったが、日ごろ「何かあったときはみんなで話し合おう、みんなで参加しよう」という町内会の態勢が、臨時防災組織の運営に生かされたと思う。

トイレの設営や発電機、暖房の確保、物資の配給、炊き出し、がれき撤去などの役割分担を決め、運営することができた。そして、行方不明者の名簿作りや安否の確認などは、市職員が中心となって担当してもらった。

## 「自主防災組織の必要性を痛感」

また、地域の方々からは食料や毛布などが提供され、大変ありがたかったことに加え、旧釜石商業高校隣接の合宿寮では暖を取りながら食事ができ、高齢者や赤ちゃんが昼で過ごすことができたのも幸いだった。

避難所で最も苦労したのは、トイレや小さい子どもへのケア、ペットの問題だった。また、体育館に避難した最初の3日間は土足で過ごしたが、衛生面を考慮して土足禁止にした。禁止する際は、避難者から反対の意見もあったが、賛同を得てみんなで協力して清掃を行い、寝床を確保することができてよかったと感じている。

その他、ライフラインが止まった中で、地域内の自宅避難者に対しても気を配った。車を借りて、日に3回以上町内を巡回しながら、避難所での炊き出しや支援助物資配布の呼び掛けを行った。

今後の課題として、自主防災組織を町内会などの中に組み込むなどして、地域内での防災活動をより強化するような取り組みが必要だと思う。